

◎ 本日の卓話 9月29日(火)

「和歌山の文化遺産：有吉佐和子」

和歌山大学 教授
デンニツア さん

◎ 次週の卓話 10月6日(火)

「ゼロから上場まで！ ～新しい農産物流通への挑戦～」

株式会社農業総合研究所
代表取締役会長CEO 及 川 智 正 さん

◎ 先週の例会記録

- ✳ロータリーソング それでこそロータリー
- ✳ビ ジ タ ー 紹 介 なし
- ✳出 席 報 告 (会員数78名、免除会員3名) 本日出席(9/15) 60名 77.92%
- ✳メ イ キ ャ ッ プ 木潮会との懇親会へ3名、和東へ4名、北へ2名、地区へ1名
- ✳S. A. A. 林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん、依岡善明さん、村田弘至さん、中野智一さん、
(ニ コ ニ コ 箱) 笹本昌克さん、海瀬隆太郎さん、垣本英作さん、西岡千博さん、竹本憲司さん、
クラブ奉仕B部門理事委員長一同

本日合計 ￥40,500 今年度累計額 ￥586,500

(財団寄付献金箱)	林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん、依岡善明さん
(米山奨学会献金箱)	林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん、依岡善明さん、川崎 悟さん
(青少年育成奨励金)	林 俊行さん、中谷友紀さん、秦 崇さん、依岡善明さん

◎ 会長あいさつ

会 長 林 俊 行



先日、大阪市都島区にある大阪拘置所を見学する機会がありました。想像していた施設とは異なり、大きく立派な建物で、内部も明るく清潔に保たれていることに驚きました。一方、職員区域と収容区域は二重扉で厳重に区別され、取調室の椅子はワイヤーで固定されるなど、安全を守るための工夫が随所に施されていました。

特に印象に残ったのは、緊張を伴う環境の中で、日々責任を持って職務にあたる職員の皆さんの姿です。普段目にするところのないところで、社会の安全と秩序を支えている方々に、深い敬意の念をいただきました。今回の見学を通じ、目に見える活動だけでなく、それぞれの立場で責任を果たし、人を支えることもまた大切な「奉仕」なのだと改めて感じました。



誕生日お祝い

幹 事 報 告

- 例会変更のお知らせ (和歌山城南RC、岩出RC)
- 9/22例会休会
- 9/29例会通常開催
- 9/29第3回創立90周年実行委員会開催案内 (9/22出欠メ切)
- 10/25秋の家族会 (9/29出欠メ切)
- 熊本地震被害支援金ご協力のお願ひ (本日メ切)
- 回覧 あさひ便り 9月号

第53回中学生英語暗唱大会に出席

2026年9月12日(土) 13:00～17:00
於：和歌山市役所14階 大会議室



委員会報告



ロータリー情報委員会 野井 和重 委員長

第1回 I.D.M.開催のご案内



I.M.ホスト特別委員会 笹本 昌克 委員長

インターシティミーティングのご案内



親睦・ソング委員会 宮崎 純 委員長

さんか会のご案内

卓話

「岩倉流の歴史と現在」



岩倉流12代宗家 那須 賢二 さん

卓話にお招きいただき有難うございます。

以前、和歌山ロータリークラブ様には「創立65周年記念の事業」の「ふるさと・わが町和歌山自慢」の中で

もご紹介いただき感謝しております。

岩倉流泳法は和歌山藩第5代藩主徳川吉宗(よしむね)公より1710年(宝永7年)、1200石取の岩倉郷助重昌が水芸指南をおおせつかったのを起源としております。およそ315年この和歌山で伝承されてきた和歌山の泳ぎの文化です。

私達の岩倉流をはじめ、現在全国に13流派の日本泳法の流派が(公財)日本水泳連盟で認証されています。

南から鹿児島県の「神統流」、大分県臼杵の「山内流」、この流派は金沢にもあります。熊本、長崎の「小堀流踏水術」、この流派は京都の京都踏水会や東京の学習院でも伝承されています。四国では、愛媛大洲の「主馬神伝流」、香川県高松の「水任流」、中国地方では、岡山、倉敷、広島、津の「神伝流」、東京の都立日比谷高校、学校法人日野出学園も神伝流です、関西では、和歌山発祥の「岩倉流」、「能島流」、「小池流」、能島流は現在浜寺水練学校が継承しています。

小池流は、師範は枚方でお住いで枚方や名古屋などで伝えています。神戸の芦屋水練学校も小池流です。

三重県の津は「観海流」、この観海流の創始者の「宮 発太郎」も泳ぎを和歌山で習って、津で観海流を起こしたようです。

関東の方では水戸の「水府流」慶応も水府流です。東京中心の教場の多い「水府流太田派」、開成中学校・高校の油

屋会、筑波大附属小・中学校の桐遊倶楽部、など多くの教場があります。

「向井流」この向井流は東京に幾つかの教場があります。会津や、北海道の小樽、帯広にもあります。では、岩倉流泳ぎについてお話しします。基本技は平泳、拔手、立泳でございます。

◎水上術では

足鼓法、平泳、拔手、二段拔手、立泳(太刀泳)、虫泳、鯉泳、轉馬(表・裏)、水馬、二つ掻、甲冑泳ぎ、など

◎跳飛術では

鯉飛、掻分、片手掻分、水入鯉飛、など

◎浮身術では

捨浮(表・裏)、安座、枯木(表・裏)、鴨形、筏流し、浮身書、など

◎飛込術では

飛込、中転、陣笠、鰐落、など

◎水入術

水入、深潜、など

◎その他として

水書、水中発砲、水弓、水車、瓜剥、西瓜切り、だるま流し、花傘行列、手足揃、など

があります。

夏に開催している「岩倉流和歌山水練学校」で、どのように教えているかと言いますと、入校すると最初は顔付、バタ足で水になれます。バタ足で4~5m泳げると平泳ぎの足の練習、ここでしっかり足を習って手をつけての平泳の練習です。手をつけることで、息継ぎを覚えます。その次は、顔を上げたまま25m泳げると、深い(2m)のプールに移り、ひたすら距離を泳ぎます。ここでは、男の子は500m、女の子は400m泳げると本科3級(通称本科1本)となります。

この本科になるとそこから岩倉流のいろいろな技を習っていきます。最初は拔手ですこれは本来急流を遡ったり、横切ったりするときに使われる技ですがこの拔手をマスターすることで、その後に習う技の基本や、幾つかの足使い・手の使いの動きを学ぶことが出来ます。拔手がある程度出来ると、そこから立泳、水入(潜水です)、鯉飛、横泳ぎなどを習います。

江戸時代から連綿と和歌山で伝承されてきました遊びの文化「岩倉流泳法」を今後ともご支援いただければ幸いです。

本日は、有難うございました。



(左から)紹介者の中野出席・プログラム委員長、ゲスト 那須賢二さん、林会長